

講座 & 親子で参加できるワークショップ

多言語でひらく未来

参加無料

2020年日本の教育は、これまでの知識の蓄積ばかりでなく、思考力、判断力、表現力を育てる方向にシフトします。

世界の人々が行き交うグローバル社会、多様なことばや人、価値観を受け入れ、共に生きていく力が必要でしょう。

多言語の自然習得と様々な国の人々との交流を40年間続けて見えてきたのは、誰もがいつからでも、どんな国のどんな人とも話せる力を身につけることができるということ。そんなことばとところを育くむ環境を紹介します。



講座 託児あり（無料・要予約）

3月7日（土）

10:00~12:00
明日都浜大津 4F
大津市ふれあいプラザ 視聴覚室

3月15日（日）

10:00~12:00
明日都浜大津 1F
市民活動センター 大会議室

ワークショップ

3月22日（日）

10:00~12:00
大津市生涯学習センター
4F 視聴覚室

どの会も、親子連れ、ご家族、学生、社会人、シニアの方など、どなたでもご参加いただけます。
お気軽にお越しください。

一般財団法人 言語交流研究所
ヒッポファミリークラブ

お問い合わせ
お申し込み

0120-557-761 受付時間（平日）
9:00~17:30
<http://www.lexhippo.gr.jp/>

〒540-0024 大阪市中央区南新町 1-4-8 アインストーンビル 4F Tel. 06-4790-7291（代）





講座 各回 10:00 開始

*ワークショップと併せてのご参加をお勧めします(講座のみ参加可)
受付のため、**開始10分前**にはご来場ください

3月7日(土) 講師: 林 怡捷
言語交流研究所 研究員

台湾台北市生まれ。生後3ヶ月で来日、台湾出身の両親のもと、日本にしながら家の中では多言語に囲まれ育つ。高校卒業後、中国と米国に留学。日本人の夫と結婚後、日本語だけの生活にどこか違和感を抱いている時、ヒッポの多言語活動と出会う。

今はたくさんの言葉と出会い、国内外のいろんな世代の人々との触れ合いで、毎日が「とってもカラフル!」17歳と14歳の息子たちがどんな言葉も区別なく受け答える姿に、日本でも多言語で子育て楽しめるんだ!と確信しています。「赤ちゃんから大人まで楽しめる多言語で子育て」の魅力をお話します!



3月15日(日) 講師: 定盛恵美
言語交流研究所 研究員

20年前、家族で多言語活動を始め、ヒッポファミリークラブの研究員として活動。マレーシア、エジプト、韓国、中国、ドイツなど様々な国の人をホームステイで受け入れる。韓国、イタリアなどのホームステイ交流に参加。また、児童館、保育園での多言語遊びの会をボランティアで開催。たくさんの人に出会いながら、ことばも体験も広がり、人はいくつになっても成長できることを実感。

子どもたちがどのようにことばを話していくのか、自分自身の習得のプロセスと重ねながら、ことばは人と人をつなぎ、誰でも楽しみながら習得できることをお話します。



ワークショップ 10:00 開始

*講座と併せてのご参加をお勧めします(ワークショップのみ参加可)
受付のため、**開始10分前**にはご来場ください



3月22日(日) 大津市生涯学習センター
4F 視聴覚室

ワークショップでは、世界各国の曲に合わせてゲームをしたり、さまざまな国のことばを使った活動を行ったりして、私たちが培ってきた「ことばとところを育む」多言語活動を体験していただきます。ぜひ、ご家族で、お仲間、お一人でもご参加ください。



一般財団法人言語交流研究所ヒッポファミリークラブとは、

国や人種の違いを超えて、どんなことばを話す人ともコミュニケーションできるようになれば…。そんな思いから1981年、多言語(いくつものことば)を、自然習得(母語のプロセス)するヒッポファミリークラブは誕生しました。本来、人間誰もが「どんなことばでも」「いくつでも」話せるようになる自然の力を持っています。ヒッポでは多言語の環境の中で育った赤ちゃんが母語を獲得するのと同じように、家族や仲間と一緒に、楽しく多言語を身につけていきます。

東京大学
MIT(米国)
言語交流研究所



の共同研究を開始

東京大学の酒井邦嘉教授と米国マサチューセッツ工科大学(MIT)のスザンヌ・フリン教授、言語交流研究所が、2016年春より多言語に関する共同研究を始めました。

2つ以上のことばを理解できることに認知上のメリットがあることは数十年前より知られていましたが、ヒッポの多言語活動に参加している人々や世界の多言語環境で育った人々がどのような能力を持つのかを脳科学の見地から調査研究。

「人間にとってことばとは何か」を解き明かしていきます。

英語以外の言語も学ぶ意義

「多様性を楽しむ姿勢

ダイバーシティマインド」

をヒッポの多言語環境で

木村護郎クリストフ教授

(上智大学/外国語学部ドイツ語学科)



国内でも国外でも、多様な言語的・文化的背景をもつ人たちと偏見なくつきあっていくことがこれから必須の前提となります。そして相手を知る一つのカギが言語です。

しかし、こう言うと、必ず、「英語さえできないのに多言語なんてムリ」という反応が返ってきます。しかし、これは的外れです。「多言語を避けているから英語さえできない」のです。むしろ小さい頃から多言語に接していると、多様性に開かれた心がはぐくまれ、異言語を学ぶことにおじけづかなくなります。そして何よりも、言語の多様性に慣れることでさらなる言語が覚えやすくなるのです。

多言語プレゼンテーション

3つ以上の言語を用いて「多言語体験を通して見つけた事」を発信するプレゼンテーション大会

◆2020年2月23日(日)

◆14:00~16:30

◆ドーンセンター(大阪 天満橋)

留学説明会 in 京滋

~親子で考える留学・ホームステイ~

◆2020年5月24日(日)

◆10:00~12:00

◆メルパルク京都4F 研修室4・5

後援: 京都府・京都府教育委員会・京都市・京都市教育委員会